

一般質問



全ての子どもの明日を支える力！
ー三重県児童相談所の人財育成についてー

なか せ こ はつ み

中瀬古 初美 議員 新政みえ／松阪市選出



問

児童相談所では、個々の事案が重く、児童虐待相談対応件数が高止まりするなど、業務が過大となっている中で、経験年数が5年未満の児童福祉司が7割を占めており、厳しい状況です。人材は財産です。経験年数の浅い職員の、人財育成の取り組みについて伺います。

答

児童相談所職員の専門性と組織対応力を高めるため、令和6年度に「三重県児童相談所職員人材育成計画」を策定し、経験年数に応じた階層別研修等を体系的に整理しました。また、職員自らが有識者を招いて研修を企画するなど、研修機会も拡大するほか、職員のスキルや知識を登録し、担当業務の範囲を超えて助言を行うサポート登録制度も導入しました。現場の意見を反映し、有識者からも助言を得て、今後も人材育成を進めます。

その他の質問事項

- 希望の海を未来へ！ー三重県における海洋ごみ対策と自然環境保全ー
- 安全と暮らしを守る道！ー国道368号（に かしとつげ 仁柿峠バイパス）の早期整備に向けた取り組みについてー



部活動の地域移行について

やま ざき ひろし

山崎 博 議員 自由民主党／四日市市選出



問

学校の部活動は、生徒の自主性や連帯感を育み、教師との良好な関係を築く場です。教員の働き方改革等により、部活動の地域移行が進んでいますが、指導者確保等の課題のほか、部活動を重視する教員のやりがい低下も懸念されます。これらの課題に対する今後の取り組みをお尋ねします。

答

地域移行を進めるに当たっては、指導者の人材バンクの設置や県独自の補助金による市町への支援のほか、保護者負担の軽減等を国に要望しています。また、休日指導を希望する教員が地域クラブ等に携わることができるよう、「兼職兼業」許可の基準モデルを市町に示しており、18市町で81人が指導に当たっています。今後も、生徒と教員がより良い環境で地域クラブ等への携わり方を主体的に選択できるよう、取り組みを進めます。

その他の質問事項

- 能登半島地震の気づきについて
- 中小企業・小規模事業の施策支援について ほか



「部落差別解消推進条例（仮称）」
制定の必要性

すぎ もと ゆ や

杉本 熊野 議員 新政みえ／津市選出



問

令和5年に県の教育公務員による部落差別事案が発生するなど、部落差別解消推進法の施行から約10年が経っても、差別が根強く残っています。部落差別をなくすという強い意志を示す、具体性と実効性のある「部落差別解消推進条例（仮称）」の制定が必要と考えます。知事の所見を伺います。

答

県では、部落差別の解消は県政の重大な課題であると認識し、「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」に基づき啓発を続けてきましたが、差別事案は年間10件以上報告されており、減少していません。また、教育公務員が部落差別を行ったことも重く受け止めなければいけません。県から部落差別をなくすことを目指して、部落差別解消に特化した条例の制定を検討していきたいと考えています。

その他の質問事項

- 「三重県性暴力の根絶をめざす条例（仮称）」制定にむけて
- 地産地消の取り組みの現状と今後の推進について



社会的養育推進に係る予防的支援ステージ
における市町や施設との連携

まつ うら けい こ

松浦 慶子 議員 自由民主党／多気郡選出



問

「三重県社会的養育推進計画（Ⅰ期）」では、4つのステージから成る切れ目なく隙間のない支援の最初の段階として、予防的支援ステージを位置付けています。この段階での、県と市町や施設との連携について、こども家庭センターの設置状況も含め、現状と今後の取り組みを伺います。

答

予防的支援では、妊産婦や子育て家庭の負担や不安、孤立の解消が重要です。妊産婦等の相談に応じるこども家庭センターは23市町が設置しており、県では全市町での設置に向けた支援や、設置済み市町に対する人材育成に取り組んでいます。また、市町に助言を行う児童家庭支援センターを7カ所設置しているほか、市町と施設が連携した取り組みの横展開も行っており、引き続き市町や施設等の役割やニーズを踏まえた支援に取り組めます。

その他の質問事項

- パラアスリートの発掘・育成・強化活動支援について
- 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の追加登録について ほか

用語解説（2～3ページの「一般質問」に関するもの）

① 5歳児健診

言語の理解能力や社会性が高まり、発達の特徴が見つかりやすいとされる5歳児を対象に行われる乳幼児健診です。主に身体の発育状況を確認する他の健診とは異なり、集団生活を営むうえで必要な社会性の発達についても確認を行います。

② 個別避難計画

高齢者や障がい者など自ら避難することが困難な避難行動要支援者が、周囲の方々の支援を得ながら避難を行うために、氏名や住所、支援を実施する方、避難先等を明記した計画のことで、要支援者ごとに作成するものです。

③ 国道306号川崎庄内バイパス

国道306号における安楽橋付近から鈴鹿市東庄内町内までの区間が、人家密集地域を通過し、道路線形が悪く、安全で円滑な交通に支障をきたしていたことから、令和2年度にバイパスとして事業化された、約3.2kmの区間のことです。

④ 鈴鹿亀山道路

鈴鹿市街から亀山JCTに至る10.5kmの自動車専用道路のことです。この道路の整備により、新名神高速道路や東名阪自動車道、現在事業中の鈴鹿四日市道路と繋がり、東西軸の広域的な幹線道路ネットワークが形成されます。

⑤ フェーズフリー

平常時と災害時の区別をなくし、日常生活の中で災害への備えを自然に取り入れる、という考え方のことです。

⑥ 社会的養育

家庭への養育を支援することや保護者に監護させることが適当でない児童等を公的責任で社会的に養育し保護することです。

⑦ 部落差別解消推進法

平成28年12月16日に施行された「部落差別の解消の推進に関する法律」のことです。



伊勢志摩国立公園指定80周年

やま もと のり かず

山本 教和 議員 自由民主党／志摩市選出



問

伊勢志摩国立公園は来年、80周年を迎えます。そのプレイバントの一つとして、帆船「日本丸」の伊勢志摩への寄港を望む声があり、検討が進められていると聞きます。帆船寄港の現在の進捗状況を含め、伊勢志摩国立公園指定80周年に対する知事の思いをお聞かせください。

答

伊勢志摩国立公園は、自然や食、観光などが融合した、自然と人工の調和がとれた国立公園です。伊勢志摩国立公園指定80周年記念事業において、子どもを含む多くの方に伊勢志摩国立公園の素晴らしさを実感してもらえよう、帆船「日本丸」の寄港に向けて、関係者と連携し調整を進めています。80周年をきっかけに伊勢志摩国立公園を見つめなおし、地域の方々の誇りとして将来に引き継がれていくことを心から願っています。

その他の質問事項

- 中東情勢について
- 防災と国民保護 ほか